

1. 研究計画概要書

1) 研究題目

地域計画の基礎としての地域区分とその地図表現に関する研究

2) 研究の目標

内外における地域計画のための地域区分および行政地域区分の特質と問題点を明らかにし、将来における最も合理的な地域区分の基準を確立するとともに、その地図表現の方法を研究する。

3) 研究方法

- (1) 従来の自然地理、経済地理的観点よりの地域区分（地形、地質、気候、土地および水利用、都市および人口分布、交通網、災害危険度などの観点よりの地域区分）を地域計画的観点より再検討する。
- (2) 計画単位地域区分（全国計画、地方ブロック計画、首都圏整備計画、特定地域計画、新産業都市建設計画などの地域区分）および行政地域区分（地方ブロック、都道府県、市郡町村など）の特質と問題点を研究する。
- (3) (1) および (2) の研究を確実にするため、関東地方および瀬戸内海地方をサンプルとして現地について調査研究する。
- (4) 以上の検討の結果と、均質地域、統一地域など最近における内外の地域区分の研究を総合し地域計画あるいは地域開発行政上もっとも合理的な地域区分の基準を明らかにする。
- (5) これらの研究成果を示す地図および地域計画の基図としての地図について、そのスケール、表現内容、表現方法等に関する研究を進める。

建設技術研究補助金交付申請書（昭和 38 年 5 月 20 日）

2. 研究実施計画書

1) 交付通知番号 昭和 38 年 6 月 3 日付建設省発計第 35 号

2) 研究費総額 3,500,000 円

3) 補助金交付額 843,000 円

4) 研究題目 地域計画の基礎としての地域区分とその地図表現に関する研究

5) 研究成果の目標

地域分析および総合評価等地域調査の方法を確立して各地域計画に資するとともに、その表記の方法を確立して地域計画の実務に資したい。また、地域の変貌を把握する方法および開発効果の測定方法を確立して関係方面に役立てたい。

6) 研究組織

総括、自然地理部門取纏め

東京地学協会 理事 村越 司

総括、地域計画部門取纏め、土地および水の利用計画担当

東京都立大学 教授 中野尊正

経済地理部門取纏め 地域区分と地域評価担当

東京大学 助教授 西川 治

地域計画部門特に都市地域の計画担当

東京都立大学 助教授 渡辺良雄

経済地理部門特に交通問題担当

群馬大学 助教授 有末武夫

地域計画部門特に開発効果に関する問題等担当

愛媛大学 講師 石水照雄

3. 研究実施状況中間報告書

1) 研究題目 地域計画の基礎としての地域区分とその地図表現に関する研究

2) 実施状況

研究項目 1 の地理的観点よりの地域区分の再検討については、既に、人口、交通、地形などの観点よりの地域区分について概ね検討を完了し、現在、都市機能および土地利用の観点よりの地域区分につき検討中であり、12 月 20 日頃までに完了の予定である。

研究項目 2 の地域計画単位の特質と問題点の究明については、全国計画における地域区分、特定地域の地域区分、首都圏の地域画定および行政地域区分などについて、概ね研究を終り、現在これらを総合して特質を抽出しつつある。

研究項目 3 のサンプル地域の現地調査については、瀬戸内海地域についてはすでに着手しつつあるが、上記 1 および 2 の研究が概ね完了する 12 月中旬以降に関東を含め集中的に実施する予定である。

研究項目 4 の地域区分の基準の確立および研究項目 5 の地図表現に関する研究については、目下関係資料の収集を終り、方法論につき検討中である。

全体として、研究は順調に進みつつあり、今日までに明らかにし得た成果の要点は次の通りである。

- 1) 地域計画における地域区分の指標としては地形、都市機能、交通体系などが重視されている。
- 2) 地域計画における地域区分の基準は、同質的な地域から、機能的な地域へと変遷しつつある。
- 3) 換言すれば、地域の開発という観点とともに、地域の秩序の確立という観点が重視されつつあり、この傾向は今後一層強くなると考えられる。

昭和 38 年 11 月 30 日